

NANO Q4 CAM PLUS

NO. H002



INSTRUCTION MANUAL

ナノキューフォーカム・プラス 日本語取扱説明書

安全にご使用頂くための注意事項(必ずお読み下さい)	01
1. 同梱品一覧	02
2. 送信機の説明.....	03
3. プロペラの取付け方法.....	04
4. バッテリーについて	04
5. フライトの準備	05
6. フライトをはじめる.....	06
7. 機体の操作方法.....	07
8. さまざまなフライトモード	
エキスパートモード	08
オリエンテーションモード	08
フリップモード	09
9. 写真・動画の撮影.....	10
10. トリム調整	11
11. ジャイロリセット	11
12. 分解図	12
13. パーツリスト	12
14. トラブルシューティング	13

安全にご使用頂くための注意事項

【1. はじめに】

この度はジーフォース製品、「HUBSAN NANO Q4 CAM PLUS」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。平成27年9月航空法の一部改正により、同年12月10日から全備重量200グラム以上の機体は「無人航空機」に分類され、飛行に関して新たなルールが施行されることとなりました。

本製品は【200グラム未満】になり、航空法で定める「無人航空機」には該当しませんが、楽しくご利用いただくために、以下の項目をお読みいただき、安全とプライバシーにご配慮下さい。

【2. フライトについて】

- 事前にラジコン製品のフライトが許可されている場所であるか確認して下さい。
空港、送電線、鉄道施設、市街地、公共の場所など人の多い場所での飛行はおやめ下さい。
天気の良い日中、目視の範囲内でのみフライトし、暗くなったり天候の悪い日には飛ばさないで下さい。
- 電波障害に気をつけて下さい
他の電波使用機器からの影響により、ラジコン用の電波が干渉を受ける場合があります。
物理的にも電波的にも障害となる物が無い、見晴らしの良い広いエリアが理想的です。
万が一の突発的に起こる電波障害を考慮し、常にあらゆるリスクに備えて下さい。
- プライバシー確保へご配慮下さい
本製品にはカメラが搭載されています。録画/撮影した映像の対象によってはプライバシーの侵害となる恐れがあります。事前に周囲をよく確認していただき、プライバシー確保へご配慮下さい。

【3. ケガにご注意下さい】

- 本製品の対象年齢は14歳以上です。
- 回転しているプロペラは大変危険です。
飛行中の機体を人に近づけたり、ハンドキャッチは絶対に行わないで下さい。
- 飛行前には必ず機体を点検して下さい。
安全のためプロペラを外し各部に異常が無い事を確認して下さい。
飛行後も必ず機体を点検し、異常が認められる場合は修理を行うまで絶対に使用しないで下さい。

免責事項：

- ◇弊社は当製品の使用によるいかなる損害にも保障する責任を負いません。
- ◇LiPo バッテリーは消耗品です。劣化に因る交換・返品は致しかねます。
- ◇この製品は性能向上・品質向上のために予告なく仕様変更する場合があります。予めご了承下さい。

NANO Q4 CAM PLUS INSTRUCTION MANUAL

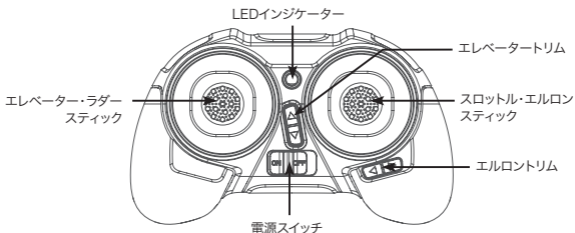
1. 同梱品一覧

ご使用前に以下の物が揃っているかご確認下さい。

番号	品名	図	個数	備考
1.	NANO Q4 CAM PLUS本体		1台	
2.	予備プロペラ		4枚	プロペラA×2枚 プロペラB×2枚
3.	送信機		1個	単4乾電池2本必要 (別売品)
4.	USB充電器		1個	
5.	microSDカード SDカードアダプタ		1セット	
6.	日本語取扱説明書		1冊	

2. 送信機の説明

2.1 各部名称



MODE 1

2.2 送信機への乾電池の入れ方

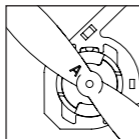
送信機は単四乾電池2本(別売)が必要です。下図に従って正しい向きでセットします。



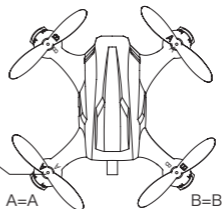
- 新旧残量の異なる電池を混ぜないで下さい
- 異なる種類の電池を混ぜないで下さい
- 非充電式の電池を充電して使用しないで下さい

3. プロペラの取付け方法

プロペラには向きがあります。モーター回転方向に応じて正しいプロペラを取り付けて下さい。



ボディとプロペラに刻印されている“A”, “B”を合わせます。



● 作業後、AとBが正しく装着されているか必ず確認して下さい。

4. バッテリーについて

4.1 バッテリーの取り扱い

本製品にはLi-Poバッテリーが採用されています。Li-Poバッテリーは小型、軽量、大出力の反面、安全に使い続けるためには適切な状態を保ち、特性上のリスクを考慮して使う必要があります。以下の注意事項を守り、正しくご利用下さい。

【使い方】

1. 電圧降下のサインやパワー感の低下が現れたら使用はやめて充電して下さい。
2. バッテリーに変形や匂い等の異常を見つけた場合は絶対に使用せず、廃棄して下さい。
3. バッテリーは絶対に分解、改造をしないで下さい。

【充電時の注意】

1. 必ず専用の充電器を使い、充電中はその場から離れず、異常事態に備えて下さい。
2. 充電完了後は必ず充電器から抜いて下さい。

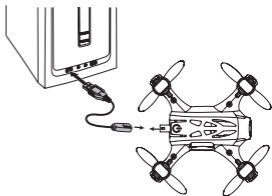
【バッテリーの保管と廃棄】

1. 夏場の車内など60度以上の高温状態に放置すると破裂、発火の危険性があります。涼しく温度変化の少ない場所に保管して下さい。
2. 長期保存の場合は満充電で保管せず、50%~80%程度の充電量にして下さい。保管後は1ヶ月に一度、充電→50%~80%まで減らす作業を繰り返して下さい。

3. 使用できなくなったバッテリーは3%~5%程度の食塩水に数週間沈めて放電して下さい。容量がゼロになっていることを確認し、自治体のルールに則り廃棄をお願いします。

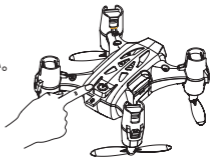
4.2 充電方法

1. 付属のUSB充電器にバッテリーを接続し、パソコンのUSB端子などにつなぎます。
2. 充電中は充電器が赤く点灯し、消灯になれば充電完了です。充電時間はおよそ30分程度です。
3. 充電完了後はバッテリーと充電器を外して下さい。



4.3 電源の入れ方

- 本体底面の電源ボタンを3秒間押し続けて下さい。
 本体のランプが付いたら離して下さい。
 電源を切る場合は、再度電源ボタンを押し続けて下さい。



5. フライトの準備

5.1 フライト環境

1. 天候の悪い日には飛ばさず、天気の良い日中、目視範囲内でのみ飛ばして下さい。
2. 市街地、公共の場所、人が集まる場所では飛ばさないで下さい。
3. 送電施設、空港施設、鉄道施設の近くで飛ばしてはいけません。
4. その他自治体のルールに則り、ラジコン製品のフライトが許可されている場所をご利用下さい。

5.2 電波到達範囲について

この製品の電波到達範囲はおよそ25mとなっています。この範囲を超えてフライトすることはできません。送信機と機体が離れすぎるとモーターが止まり、墜落してしまう恐れがあります。また、2.4GHz帯の電波を使用した無線LANなどの機器と干渉する恐れがあります。十分ご注意ください。

6. フライトをはじめる

フライトを始めるには、機体と送信機をリンクさせる必要があります。このリンクさせる作業をバインドと呼びます。以下の手順に従い、正しくバインドを行って下さい。

- ① 送信機のスロットルスティックを一番下にします。(図1)
- ② 本体の電源スイッチをONにします。(図2) 本体のLEDが高速に点滅します。
- ③ 送信機の電源スイッチをONにします。本体のLEDがゆっくり点滅します。

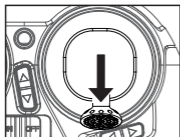


図1

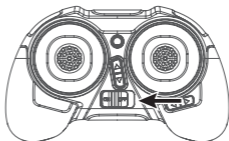


図2

- ④ 送信機スロットルスティックを一番上(図3)に上げ、すぐに一番下(図4)に戻します。アラーム音が鳴り、機体のLEDが点滅から点灯に変わり、操作できる状態になります。

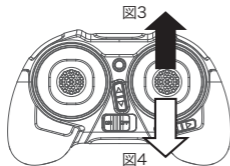


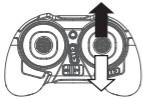
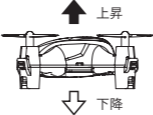
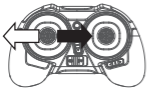

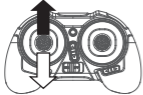
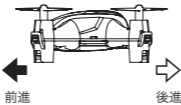


図3

図4



- バインドを行う前に、機体のバッテリーを充電して下さい。
- バインドを行う際は、機体を水平な場所に置いた状態で行って下さい。
- 本体に破損が無いか、ローターが4枚とも欠けや曲がりがないかを確認します。
- バインド中は機体を動かさない様ご注意ください。
- フライトを終えたら必ず、機体電源スイッチをOFFにして下さい。
- フライト中、バッテリーが無くなってくると、LEDの点滅でお知らせします。速やかにフライトを中止して充電するようにして下さい。

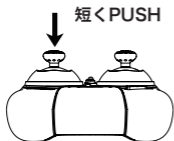
7. 機体の操作方法

送信機の操作	機体の動き	説明
 <p>スロットル</p>	 <p>上昇 下降</p>	<p>スロットルスティックは昇降・下降を制御します。</p> <p>離陸する時は急激な操作は避け、ゆっくりと上に動かして下さい。</p> <p>飛行時はこまめにスロットル操作を行い、高度維持に努めます。</p>
 <p>ラダー</p>	 <p>右回転 左回転</p>	<p>ラダースティックは機体の回転を制御します。</p> <p>左に動かすと左回転、右に動かすと右回転をその場で行います。</p> <p>スティックを離すとその方向を維持します。</p>
 <p>エレベーター</p>	 <p>前進 後進</p>	<p>エレベータースティックは前進・後進を制御します。</p> <p>スティックを上動かすと前進、下へ下げると後進します。</p> <p>急に操作すると危険なので、ゆっくり動かすようにしましょう。</p>
 <p>エルロン</p>	 <p>左移動 右移動</p>	<p>エルロンスティックは左右移動を制御します。</p> <p>左に動かすと左へ移動、右へ動かすと右に移動します。</p> <p>急に操作すると危険なので、ゆっくり動かすようにしましょう。</p>

8. さまざまなフライトモード

8.1 エキスパートモード

エキスパートモードとは、各舵角が通常より大きく動かす事ができるモードです。これにより、通常より速いスピードで操縦ができるようになりますが、操縦難易度が上がります。エキスパートモードに移行するには、送信機の左スティックを押し込む事で、モードが切り替わります。その都度アラーム音が鳴り、その回数でどのモードなのかをお知らせします。



アラーム音別モード対応表

ピッピッ………	エキスパートモード (上級者向け)
ピッ ……………	ノーマルモード (初級者向け)

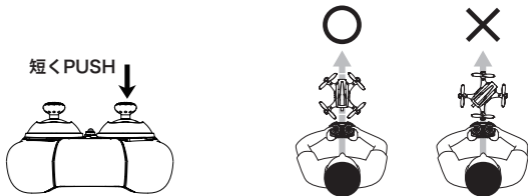
※初期状態はノーマルモードになります。

8.2 オリエンテーションモード

スロットルスティックを中に押し込むとオリエンテーションモードになります。

下図の通り、フライト中にスティックを押すことで「ピッ・ピッ」と2回アラーム音が鳴り、機体前方の青LEDが点滅して、オリエンテーションモードになっていることをお知らせします。オリエンテーションモードを有効にする際は、機体と送信機が同じ方向を向き、一直線に並んだ状態で行って下さい。

オリエンテーションモード中は、機体の向きに関係なく前後左右が固定された状態になります。機体がどこを向いていてもエルロンスティックを左右に動かすと機体は左右に動き、エレベータースティックを前後に動かすと、機体は前後に動くようになります。



オリエンテーションモードに移行する場合は、機首が前方を向いた状態で行って下さい。

8.3 フリップモード

送信機の右スティックを押し込む事で、フリップ(宙返り)アクションが可能なフリップモードに移行します。

下図の通り、フライト中にスティックを押し込むことで「ピッ・ピッ・ピッ」と3回アラーム音が鳴り、フリップモードになっていることをお知らせします。このアラーム音が鳴っている間にスティックを操作すると自動的にフリップ動作に入ります。

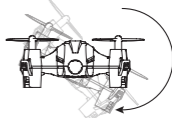
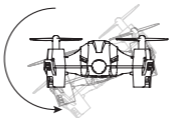


■左・右サイドフリップ ※左右に360度回転します。

フリップモード中に、エルロンスティックを左右どちらかに倒し、すぐに中立に戻します。

①右サイドフリップ

②左サイドフリップ

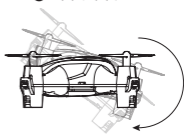
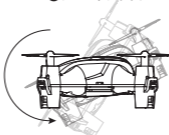
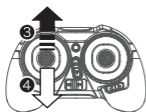


■フロント・バックフリップ ※前後に360度回転します。

フリップモード中に、エレベータスティックを前後どちらかに倒し、すぐに中立に戻します。

③フロントフリップ

④バックフリップ



9. 写真・動画の撮影

写真撮影

1. 機体にmicroSDカードが挿入されていることを確認します。
2. 送信機のエレベータースティックを長押しすると撮影されます。
この時送信機から“ピッピッ”と音が鳴り、機体の赤LEDが1回点滅します。
3. 連続で撮影する場合は3秒ほど間隔をあけて下さい。

動画撮影

1. 機体にmicroSDカードが挿入されていることを確認します。
2. 送信機のエルロントリム (▶) を3秒間押し続けると撮影が開始されます。撮影中は機体の赤LEDが点滅します。
3. 再度エルロントリム (▶) を3秒間押し続けることで録画が終了します。
4. 録画終了後もmicroSDカードへの書き込みが続いている場合がありますので、連続で撮影する場合は10秒ほど間隔をあけて下さい。



	動画	静止画
ファイル形式	AVI形式	JPG形式
記録サイズ	640×480	640×480
音 声	なし	—
ファイル作成先	VIDEOフォルダ内	PHOTOフォルダ内

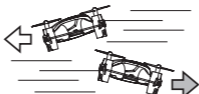

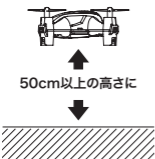
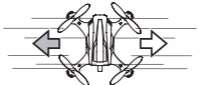



- 録画を終了する際は、録画スイッチをもう一度押して録画停止を行って下さい。
- 録画中に電源を切ると終了処理が行われず録画データが保存されません。

10. トリム調整

トリム調整とは機体が上空に上がった際、スティック操作をしていない状態にも関わらず、機体が前後左右に移動してしまう際に各スティックの微調整ができます。

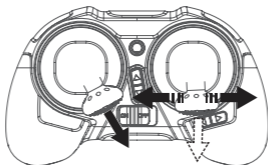
トリム調整は機体がフライトして50cm以上の高さにある状態で調整する必要があります。地上で行っても正しく調整できませんので、必ず50cm以上の高さで行って下さい。

<p>トリム調整時の重要な注意点</p>	<p>機体が前進または後進してしまう</p> 	<p>① 後進する場合はエレベータトリムを上へ ② 前進する場合はエレベータトリムを下へ</p> 
 <p>50cm以上の高さ</p>	<p>機体が左右にスライドしてしまう</p> 	<p>① 右に流れる場合はエルロントリムを左へ ② 左に流れる場合はエルロントリムを右へ</p> 

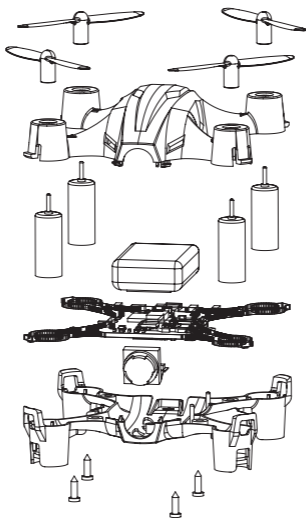
11. ジャイロリセット(キャリブレーション)

フライト中に左右前後に機体流れ、トリムでも改善できない場合はジャイロリセットを行う事で改善できる場合があります。

1. 送信機と機体の電源を入れ、フライトできる状態にします。
2. 送信機トリムボタンをすべて中立に戻します。
3. 左スティックを右下方向へ入れたまま、右スティックを左下⇄右下へ5回程動かします。
4. 機体のLEDが点滅します。点灯に変わればリセットが完了です。



12. 分解図



13. パーツリスト

品番	品名
GH003	ボディセット[H002用]
GH004	3.7V 180mAh LiPoバッテリー[H002用]
GH005	プロペラセット[H002用 8枚]
GH006	USB充電ケーブル[H002用]

14. トラブルシューティング

1. 機体と送信機がバインドできない。

送信機の電源を入れる時にスロットルスティックを一番下まで下げた状態で、電源を入れて下さい。また、電源を入れる際は、スティック、スイッチに触れない様注意します。

2. ジャイロがうまく働かない。

下記の点をご確認下さい。

- 1) バッテリーの電圧が低下してる可能性があります、バッテリーを充電して下さい。
- 2) バインドする際に、機体を水平な場所に置いて下さい。
- 3) 11Pの「10. ジャイロリセット」をお試し下さい。

3. フリップモードが動作しない。

バッテリーの電圧が低下してる可能性があります、バッテリーを充電して下さい。

4. フライト中に異音・振動が発生する。

プロペラかモーターが損傷している可能性があります。

4枚のプロペラそれぞれに曲がりや折れがないか確認して下さい。

5. モーターは回転するが、機体が浮上しない。

プロペラの取り付けには向きがあります。

プロペラ、機体側にA・Bと刻印(右図参照)がありますので、正しく取り付けて下さい。

6. モーターがひとつだけ回転しない。

以下の方法をお試し下さい。

- 1) プロペラがモーターを押し付け過ぎて、圧迫している。
⇒プロペラを交換して下さい。
- 2) モーターが内部で断線している。
⇒断線している箇所をハンダで修復して下さい。

7. カメラが撮影できない。

下記の点をご確認下さい。

- 1) microSDの仕様をご確認下さい。
⇒推奨microSDカード: 2~16GB、クラス4~UHS-1
- 2) microSDをフォーマットして下さい。

※その他の質問は随時弊社 WebSite に掲載しておりますので、是非ご参照下さい。

<http://www.gforce-hobby.jp>

製品サポートについて

保証・修理規定

保証については、初期不良品のみに対応となります。保証を受ける際には領収書、レシート、納品書など購入時期を証明するものが必要です。購入時期を証明できない場合には初期不良品としての対応は致しかねます。初期不良品につきましてはお手数ではございますが、弊社へお送り頂く前に事前に電話にて弊社までご連絡頂けますようお願い致します。

ご使用後の製品の破損などによる修理依頼は新品への有償交換とさせていただきます。

※税抜定価の60% (送料込・代引手数料別)

初期不良交換、修理有償交換ともに付属品等を完備のうえでお送り下さい。欠品があった場合、交換対応をお断りさせていただくことがあります。ご不明な点は弊社カスタマーサポートまでお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

製品カスタマーサポート：03-6206-0059

電話受付：月曜日～金曜日（祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

受付時間：10:30～12:00，13:30～16:30

（弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承下さい）

<随時FAQをWebで更新しています。是非ご参照下さい>

www.gforce-hobby.jp

輸入販売元：株式会社ジーフォース

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 マレ神田ビル9階

ご購入メモ

ご購入日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

ご購入店舗名： _____

G FORCE

当社に無断で複写・転写・転載を禁じます

Copyright © 2015 G FORCE, Inc. All Rights Reserved

